

撮影ポイントのご紹介

尾瀬の美しい自然は、季節によってさまざまな表情を見せてくれます。



初夏の尾瀬ヶ原



秋の草紅葉



ミスバショウ(春)



ヒメシャクナゲ(春)



ミスギク(夏)



ニッコウスゲ(夏)



アケボノソウ(夏)



イワショウブ(秋)

入山にあたって

- 尾瀬は山岳地帯ですので、ふさわしい準備をして入山してください。特に靴や服装、雨具類には気を配りましょう。
- 時間的・体力的に余裕を持った行程を組みましょう。
- 木道は滑りやすいので、気をつけて歩きましょう。
- 倒木、落石など周囲の状況に気をつけてください。
- ツキノワグマに注意してください。

自分の安全は自分で確保。
自己責任で尾瀬の自然を楽しんでください。

尾瀬

入山にあたって

東京電力の尾瀬保護活動

東京電力リニューアブルパワーは、尾瀬の環境を保護するため、これらの設備を設置・運営しています。

尾瀬ヶ原の3か所の橋

ヨツビ吊橋、東電下の大堀橋、東電尾瀬橋を維持・管理



東電尾瀬橋

FSC材を使用した木道・ベンチ



尾瀬国立公園内65kmの木道のうち20kmを整備多くの方に尾瀬を楽しんでいただくため、大清水湿原には、車いすも通れるワイド木道を500mにわたり設置



種子落としマット

外来種の侵入を防ぐために設置



浄化槽のついた公衆トイレ

15ヶ所のうち7ヶ所を維持・管理



尾瀬でのルール

- 靴底についた外来植物の種子を落としてから入山しましょう。
- 木道は右側通行です。一列で歩きましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 湿原には踏み込まないようにしましょう。
- 動植物は持ち込まない・持ち帰らないようにしましょう。
- 山小屋は予約制です。

小さな気遣いで、
尾瀬の繊細な自然をまもりましょう。



尾瀬国立公園
OZE NATIONAL PARK

群馬、福島、新潟、栃木の4県にまたがり雄大かつ繊細な自然が残ること知られる尾瀬は神秘的な美しさをたたえ、貴重な自然の宝庫であることから古くから国立公園ならびに特別天然記念物に指定されています。尾瀬の自然を守るため、また、ご自身の安全を確保するため、入山にあたっての心がけを確認しておきましょう。

東京電力リニューアブルパワーは、尾瀬国立公園特別保護地区の約7割、全体の約4割を所有し、長年その自然保護に取り組んでいます。



尾瀬とTEPCO

検索

発行

東京電力リニューアブルパワー株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

☎03-6373-1111 (代表)



みんなの尾瀬をみんなでまもる

自分で出したゴミは持ち帰りましょう!

今ではすっかり定着した感のある「ゴミ持ち帰り」ですが、数十年前までは、ゴミは近くのゴミ箱へ、というのが当然の考え方でした。昭和40年代半ばには、尾瀬の群馬県側だけでも数百ものゴミ箱が置かれており、ゴミ箱に捨てられたゴミを片づけるだけでも大変な作業でした。ゴミと格闘する日が続く中で思いついたのが、ゴミ箱を撤去するという全く逆の発想でした。

昭和47年(1972年)、東京電力と関係会社の尾瀬林業(現:東京パワーテクノロジー)のこの提案が認められ、尾瀬のゴミ箱は撤去されました。これが「ゴミ持ち帰り運動」の始まりであり、このことも尾瀬が「日本における自然保護活動発祥の地」と呼ばれる理由の一つとなっているのです。



ハイカーの出すゴミであふれたゴミ箱(昭和40年代半ば)

湿原には踏み込まないで!

本州最大の高層湿原である尾瀬。この湿原が踏み荒らされ、荒廃してしまった悲しい歴史があることをご存知ですか?

昭和30年代半ばに入り、人々の生活に余裕が出始めると、「尾瀬ブーム」と言われるほど多くのハイカーが尾瀬を訪れるようになりました。しかし当時はまだ、木道や公衆トイレなどの自然をまもるための設備が整っておらず、またマナーも確立していなかったため、人々は自由に湿原を歩き回り、踏み荒らしてしまいました。その頃から、東京電力では木道を整備し、自然を傷めることなく自然とふれあっていただくよう、皆さんにもご協力をお願いしてきました。二度と悲しい尾瀬の歴史を繰り返さないよう、木道、登山道を外れずに歩いて下さい。



荒廃が最もひどかったアヤマメ平。



長年にわたり回復作業に取り組み、やっと緑が戻ってきています。

凡 例	
	初級者トレッキングコース (ほぼ平坦な道、木道含む)
	初級者トレッキングコース (比較的歩きやすい山道)
	中級者トレッキングコース (急勾配などあり、健脚向きの山道)
	登山道 (登山道から絶対に外れない事)
	駐 車 場
	公 衆 ト イ レ
	勾 配 (矢印の方向に登り)
	山 小 屋
	休 憩 所
	境 滝



尾瀬の麓・戸倉「尾瀬ネイチャーセンター」

尾瀬・戸倉地区の動植物について実物・パネルで楽しく学べます。

※戸倉の位置は尾瀬国立公園全体図参照。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用した。(承認番号 平25情使、第85号)」